



求名っ子

さつま町立求名小学校
令和5年度第7号
令和5年11月2日発行

校区に響くあいさつ・心を拓く読書活動・伝統をつなぐ鷹踊り

笑顔いっぱい実りいっぱい

校長 河内 恵里子



今月は、「地域が育む鹿児島県の教育県民週間」にちなんで、本校でも自由参観を実施し多くの方々に御来校いただいております。11月11日（土）には、「求名ふれあいDAY（デイ）」を実施します。子どもたちの学校での様子をお伝えできるのではないかと思います。昨年度から、学習発表会という学校からの一方通行だけでなく、保護者や地域の方々と共に楽しむふれあい活動を入れて実施しています。オープニングとエンディングは子どもたちの発表があります。1・2年生が生活科の学習で制作した物を使って、お店屋さんやゲームを、また、児童と地域の方々や保護者を交えてのグランドゴルフをする予定です。ぜひ御来校ください。

11月26日には、求名区の振興部や役員の方々とPTAと一緒に、子どもたちのために餅つき大会を催して下さるようです。いろいろな学校や地域の行事を通して、子どもたちには、地域の方々と触れあうことで、求名区の下さに気づき、更にふるさと求名を愛する気持ちを育てていってほしいと願います。

さて、10月27日～11月9日の2週間は「読書週間」です。第1回の読書週間が開催されたのは、終戦まもない1947(昭和22)年です。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という志のもと、出版社や書店、公共図書館を中心に、新聞社や放送局なども協力して行われました。期間は11月17日～23日の1週間でした。当時、アメリカでは、11月16日から1週間、子どもに本に親しんでもらう運動である「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が開催されていました。日本の読書週間の時期は、このチルドレンズ・ブック・ウィークを参考にしたのです。第1回の読書週間が大反響だったため、翌年の第2回からは、期間を延ばして開催されるようになりました。文化の日(11月3日)を中心にした10月27日～11月9日の2週間となり、この開催期間は今に至るまで変わっていません。秋だから読書というより、アメリカのチルドレンズ・ブック・ウィークと日本の文化の日が読書週間の期間に影響しているようです。

夏目漱石の小説『三四郎』に「そのうち与次郎の尻が次第に落ち付いて来て、燈火親しむべしなどという漢語さえ借用して嬉しがるようになった」と書かれている箇所があります。この「燈火(灯火)親しむべし」というのは「秋になると、涼しくなり、夜も長くなって、燈火、つまり明かりの下で読書するのに適している」ことを意味しています。「燈火親しむべし」は、唐の文人の韓愈(かんゆ／768-824年)の詩『符読書城南(符、書を城南に読む)』の中に出てくる一節がもとになっています。読書週間の今、秋の夜長は「燈火親しむべし」を実践してみてもいいかもしれません。

二学期のゴールも見えてきました。ゴールへ向けて、確かな一步一步を重ねていきたいと思っています。実りの秋である二学期が、実り多いものになるように。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	十二月の行事予定
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	曜	
			仕事納め						二学期終業式（11／8冬休み）	求名小と鹿児島実業の合同パフォーマンス		中学校制服採寸										校内持久走大会予備日		人権教室		校内持久走大会・学級PTA・学校保健委員会	人権週間			1・2年立哨指導 試走	主な行事	

10/2 K Y T指導

全校朝会で、校長から「学校安全の日」について説明を聞き、命の大切さを考えました。さらに2校時には写真を使って、グループで「危険」について話し合った後、実際に校内を回って校内の気を付ける場所や行動について考えました。それぞれ気付いたことや考えたことを大切に、より安全な学校生活を送ってほしいです。



10/2 タグラグビー

国体の旗手を務めた桑水流選手と九電ヴォルテクスの皆さんにお越しいただき、タグラグビーの講習をしていただきました。最初は緊張気味でしたが、最後はみんな大きな声で楽しんでいました。サインまでもらってうれしい時間でした。



10/4 陸上記録会

「60mH」「100m」「800m」「走り高跳び」「走り幅跳び」「400mリレー」に、参加してきました。それぞれ練習の成果を発揮して、自己新記録を出すなど、精一杯の力を見せることができました。順位以上に有意義な一日となりました。

10/11 国体ラグビー観戦

さつま町で開催された国体ラグビー少年男子の部の5-7位決定戦を3年生以上が観戦しました。間近で見る高校生、それも全国上位のプレーに、タグラグビーやワールドカップとは違った興奮と感動を味わうことができたようです。熱意あふれる声援を両チームに届けてきました。



10/18 家庭教育学級 (こんまりメソッド)

講師に菊野由美子さんを招いて、「こんまりメソッド」について講演いただきました。「掃除」と「片付け」の違いから、「ミニマリスト」を目指すのではないことや、「捨てるもの」を選ぶのではなく、「ときめくもの」を選ぶことなど、ときめく人生のヒントを教わりました。



10/19 生活科・社会科見学

5・6年生は鹿児島のNHK放送局に、1～4年生は薩摩川内の防災研修センター・消防本部に見学に行きました。

5・6年生は説明を受けて、局内の見学をした後、実際にキャスターが座る席に座ったり、クロマキーの前に立って天気予報をしたりと体験までさせてもらいました。

1～4年生は防災研修センターで、地震、暴風、火災時の煙等を体験して、災害の恐ろしさについて学習したり、消防の仕事や乗り物について説明を受けたりしました。

また、1～4年生は見学の帰りがけに、ひまわり館に寄りました。太平洋戦争中の、1942年に求名小学校に地域の婦人会から寄贈され、戦後に広島

の被爆ピアノの修復も手がける業者に修理していただいたピアノが置かれているからです。求名小学校は今年度で閉校となりますが、多くの人の思いに支えられてきた学校であることを少しでも感じて、学校、そして故郷への思いを高めることができました。

